

ホームページへの掲載		
済	12月21日	掲載予定

## 岐 阜 県 立 可 児 工 業 高 等 学 校

学 校 長 豊 吉 守

学 校 住 所 可 児 市 中 恵 土 2358 の 1 電 話 0574-62-1185

- 1 会議の名称** 可児工業高等学校学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成**
- |       |       |                    |
|-------|-------|--------------------|
| 委 員   | 安達 邦満 | 可児市中恵土自治会連合会長      |
|       | 小栗 公子 | (有)小栗モータース取締役(欠席)  |
|       | 相生 順子 | 可児市青少年育成アドバイザー(欠席) |
|       | 玉田 吉孝 | リンナイ精機株式会社専務取締役    |
|       | 長谷川 保 | 可児市下恵土公民館館長        |
|       |       | (委員名は五十音順)         |
| 学 校 側 | 豊吉 守  | 校長                 |
|       | 高木 良昭 | 教頭                 |
|       | 福井 学  | 事務長                |
|       | 広瀬 和生 | 教諭(教務主任)           |
|       | 鈴木 宏  | 教諭(進路指導部長)         |
|       | 兼松 竹司 | 教諭(生徒指導部長)         |
- 3 会議の目的** 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、本校教育の一層の改善・充実を目指す。
- 4 会議の開催** 平成21年12月10日(木) 13:20~15:10 可児工業高等学校校長室  
評議員3人と学校側6人が出席  
会の内容
- ・生徒の実践発表と施設見学
  - ・出席者自己紹介
  - ・学校の現況と今年度上半期の成果
  - ・感想と本校への意見や提言
  - ・その他
- 5 会議の概要**

### (1) 生徒の実践発表と施設見学

本校の4つの学科において、今年度上半期の実践のうち代表的なものについて、各科の生徒代表が演示、説明を行った。

- ①機械科：ミニ列車の製作
- ②電気システム科：ジャパンマイコンカーレースについて
- ③応用技術科：愛知工業大学サイエンス大賞努力賞の研究紹介

#### ④建設工学科：ものづくりコンテストへの取り組み

### (2) 学校の現況と上半期の取り組みと成果

生徒指導部より

- ・遅刻ゼロへの取り組みと成果
- ・上半期の生徒指導に関する資料の説明

進路指導部

- ・今年度の就職状況
- ・今年度の進学実績

教務部

- ・今年度の本校の取り組みや成果を資料やVTR等を用いて説明した。

### (3) 本校への意見や提言

意見 1 見まもり隊で小学生の登校指導をしているが、朝、小学生の通学団と狭いところで自転車通学の生徒と一緒にすることがある。その時、自転車が道路側にはみ出すことがあるので心配している。

おおむね生徒は挨拶をしてくれるようだ。

回答 まわりに幹線道路がある本校では自転車事故の危険性は常にあるので、日頃から注意を促している。親にその実態を知ってもらうためもあって、年に数回本校職員と保護者が協力をして登校指導を行っている。

意見 2 外部評価の分析や各先生の説明を聞いて、皆さん方が教育に熱心に取り組んでおられることはよくわかったが、生徒とは日頃接触していないので評価はむづかしい。

意見 3 今の小学生や中学生を見ていると、大人に対する態度が良くない者がいる。高校生はどうなのでしょう。不登校や粗暴な生徒はおりませんか。

回答 生徒は多くがしっかり挨拶をするし、教師に対する暴言や暴力はない。不登校あるいは不登校気味の生徒はいるが、学校に問題があるのではなく、本人の個人的な問題やその生徒の家庭に問題があるばあいが多い。そういう生徒については教育相談担当の教師が担任と協力し問題解決に当たっている。

また発達障がいを抱える生徒もいて、特別支援学校のコーディネータの支援を受け、保護者と懇談の機会を設けたり、研修を行っている。

意見 4 自転車通学の生徒を見ていると、改造して通常よりグリップの位置が高いハンドルにしている者がいるが、規制はしているのか。

回答 特に規制はしていないが、運転する上で危険なものについては個々に指導している。

意見 5 防災教育についてお聞きしたい。防災に関する訓練は行っていますか。また、実習室は整理整頓に心がけておられるようだが、棚に重量物がおいてあると、地震によって落

下し大怪我になることも考えられる。

回 答 防災訓練については毎年2回実施している。今年度は煙道体験を実施するなど、少しでも効果が上がるような工夫をしている。

棚については壁に直付けするなどして、転倒防止に努めているが、重量物の落下防止についてはあらためて調査して、早速対策を講じたい。適切なお指摘に感謝したい。

意見 6 下校時に制服の着方がだらしない生徒がいる。また近隣のショッピングセンター付近で自転車を横に何列にもなっていくのを見たことがある。

回 答 普段から交通マナーや服装については指導をしている。ショッピングセンターなどは生徒指導部で時々見回っていて、そのような生徒がいた場合は注意を与えている。しかし、お指摘のような生徒がいるのは事実なので今後も粘り強く指導していきたい。

意見 7 今年は就職が厳しかったが、可児工業高校は高い就職率で安心した。私の会社にも可児工業高校の生徒一名が内定したが、はきはきとした態度で社内での期待も高い。同窓生としてもうれしい。

最近の新入社員はたとえ学力試験では好成績をとっていても、実際の仕事になると使えないものもいる。我が社でも選抜方法を変えなくてはいけないと考えている。

さきほど、それぞれの科で説明してくれた生徒のように、人前で堂々と話せることは社会人として重要なことなので、そういう経験を数多く積ませるようにしてほしい。

回 答 生徒は経験を積むことで、人前でも物怖じせず話せるようになる。

本校では授業の中で教師が一方向的に話すのではなく、1時間の授業の中で一回は発表する機会を持てるよう、先生方をお願いしている。そのような小さいことの積み重ねが必要だと考えている。

## 6 会議のまとめ

① 第2回の会は本来は学校祭の時に、行う予定だったが、インフルエンザの影で響中止になったので、1ヶ月遅れになった。今回は各科の上半期の取り組みについて代表的なものを生徒自らが説明するという形で紹介した。紹介の仕方や内容については高い評価を受けた。生徒にとっても良い体験になった。

② 地元の町内会の方は校外における生徒の行動を良くご覧になっている。しかも温かい目で生徒を見ておられるので、厳しいお指摘もあったが、学校としては大変にありがたい忠告として受け止めたい。また防災面では我々が気づかない点を指摘され、早速、その点の改善や点検を実施した。

③ 「ひとつづくり」の面でも貴重なご意見をいただいた。今後の進路指導や生徒指導に役立てていきたい。

④ 本校での数々の取り組みについては好評で、例えば機械科のミニ列車は早速、地元のイベントへの参加を依頼された。本校としては様々な機会ですぐに地元のイベントに参加し、地元の理解を得て愛される可児工業高校を目指していきたい。